

3号機可否判断 論拠県民に説明へ

溝口知事

島根県の溝口善兵衛知事が20日の定例会見で、中国電力から事前了解の申し入れを受けた島根原発3号機の原子力規制委員会への新規制基準適合性審査申請に
関し、可否判断に至った論拠を県民に説明する考えを示した。

県議会側が求めた知事としての主体的な判断と論拠の明示に応じた形で、前回の会見で原発から30キロ圏内の5市と鳥取県が容認すれば県も了解するとの考えを軌道修正した。

溝口知事は「関係自治体の意見を聞いた上で、(県として)こう対応するという説明を(県民に)する必要がある」と述べ、県議会の求めに応じることを示唆。審査申請の可否については「関係自治体が多いので、意見を聞くのがわれわれの立場だ」と強調し、改めて関係自治体の意見が出そろってから判断する方針を示し、時期は「8月になる見込み」との見解を明らかにした。

(高橋利明)